

きょねん わだい
去年テレビで話題になったヒアリをみんなは知っているかな？
ヒアリのように外国から日本に来た生きものを「外来生物」って言うんだ。中でも、つよ じく も 強い毒を持っていたり、日本に昔からいる生きものを危険にさらしてしまったり、かんきょう わる えいきょう 環境に悪い影響をあたえる生きものを「特定外来生物」って呼んでいるんだよ。ここで問題です！ 次のうち、特定外来生物はどれかわかるかな？

- ①オオクチバス(ブラックバス)
- ②ハクビシン
- ③アメリカザリガニ
- ④ミシシippアカミミガメ(ミドリガメ)
- ⑤アライグマ
- ⑥シマリス



いえ ちか
家の近くでアライグマやハクビシンを見たことがあるよ。わたしたちがよく知っている生きものの中にも「外来生物」はたくさんいるんだね！どんな生きものが「特定外来生物」なのか調べてみようかなー♪



ぜんぶ がいらいせいぶつ
こたえ：①・⑤ そのほかは全部、外来生物だよ！

福生水辺の楽校運営協議会が「優秀成果団体」に選出！



福生水辺の楽校運営協議会（会長：野中洋氏）が、公益財団法人河川財団の平成28年度助成事業「川づくり団体部門」で優秀成果団体に選出されました。

これは、同会が5年目の取組みとなる「福生市内小中学校における多摩川の総合学習支援」事業に対し、全国98団体の中から上位10団体として選出されたものです。表彰式は平成30年1月に東京大学で行われました。

かんきょう通信市民編集員を募集しています！

かんきょう通信市民編集員を広く募集しています。環境に関心のある方、文章の作成がお好きな方、何か新しいことを始めてみたい方、編集員として一緒にかんきょう通信を作ってみませんか？ 皆様のご応募、お待ちしております。

〈応募資格〉

- ①福生市在住・在勤・在学の方
- ②編集会議（1号3回程度）に参加いただける、もしくはメールなどでやり取りのできる方。



【問合せ かんきょう通信市民編集部事務局(環境課)】

編集後記

◆昨年8月に災害時対応施設としての機能を持ち、最新の環境配慮をされた防災食育センターをかんきょう通信のメンバーで見学しました。また、環境学習にてごみ問題について参加者と話し合い、一市民としていかに地球を守っていくかを考え、行動していくことが私達に課せられた課題だと改めて認識しました。(C・T)

平成30年2月発行 第43号
発行：かんきょう通信 市民編集部
事務局：福生市役所生活環境部環境課
TEL.042-551-1718(直通)



「福生市は、環境保全に関する普及啓発のシンボルマークとして、かんきょう通信にエコマークを使用しています」

市民編集員
榎本宏美・エボエリコ・清水貞夫
高森千夜子・田中俊朗・中西真実

資源有効利用のため本紙は再生紙を使用しています



この印刷物は環境にやさしい「植物油インク」を使用しています。



環境にやさしい！ 地域にやさしい！

環境想いな防災食育センター稼働中！



防災食育センターは市内の小・中学校に学校給食を提供する『給食施設』としての機能と、避難所・備蓄機能・応急給食機能などの『災害時対応施設』としての機能を併せ持つ施設です。

また、災害時に必要な設備だけでなく環境に配慮した設備やシステムを導入しており、地域にも環境にもやさしい施設となっています。

5つの環境配慮ポイント！

- ・電力のピークカットと防災の両立を目指す **マイクロコージェネレーション**
- ・優れた省エネ性に加え、管理性をアップした **空調機器**
- ・厨房排水を処理して環境負荷を抑える **厨房除害装置**
- ・長寿命と省エネで環境に配慮した **LED照明**
- ・給食配送車両はエコカーの **電気自動車&ディーゼルハイブリッドトラック**



ディーゼルハイブリッドトラック



マイクロコージェネレーション



電気自動車

市民の声

- ・アレルギー対応給食は、最初なかなか慣れなかったが、最近はおいしく食べている。(小学生)
- ・プラスチック食器ではないので割れてしまうこともあるが、みんなでおいしく給食を食べている。(小学生)
- ・防災食育センターは、給食についての保護者の意見や要望が反映されやすいように感じている。(保護者)



ふっさ環境市民会議活動報告



ふっさ環境市民会議では、例年12月の地球温暖化防止月間にあわせ、家庭の省エネ普及啓発を目的とした展示を市役所にて行っています。平成29年度は、家庭でできる冬の省エネの取り組み紹介の他、家庭ごみを減らす工夫ランキング（福生市）のアンケートを実施しました。また、四季折々の美しい山の写真も展示しました。

ふっさ環境市民会議のメンバーは展示ブースに訪れた市民の方と資料・写真の説明を通じて、和やかに環境について語り合いました。



また、12月7日から9日にかけて開催された「エコプロ2017」に福生市が出展しました。ふっさ環境市民会議は9日にワークショップ「多摩川の魚を釣ろう」を行い、子どもから大人まで、多くの方に楽しみながら福生市と多摩川を知っていただき、環境視点のPRができました。

今後もふっさ環境市民会議では、環境課との連携のもとで、環境の啓発活動を推進していきます。皆さんもご一緒に活動しませんか？

【問合せ ふっさ環境市民会議事務局（環境課）】



環境課・
公共施設で
配布中!!

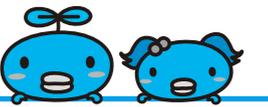
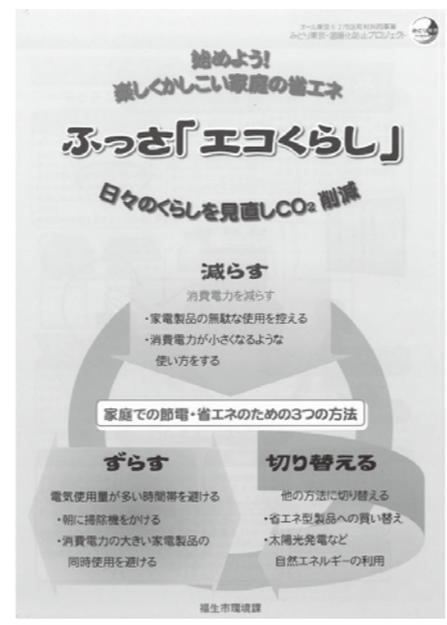
ふっさ「エコくらし」

「始めよう！楽しくかっこいい家庭の省エネ」をモットーに、生活の中のちょっとした工夫から省エネを始めるためのパンフレットです。（編集協力：ふっさ環境市民会議）

家庭での節電・省エネのための3つの方法、「消費電力を減らす」「電気使用量が多い時間を避ける」「他の方法に切り替える」をはじめとし、さまざまな工夫をご紹介します。

無理しない、我慢しない。大事なことは小さなことでも続けること、「もったいない」の心を忘れずに行動することです。

ほんのちょっとした工夫から皆さんも「エコくらし」を始めてみませんか？



平成29年度環境学習講座

身近にせまる！最近のごみ問題

～私たちに
何ができるか？～



例年、さまざまな視点から環境問題について考える環境学習講座。平成29年度は、講師に環境カウンセラーの山本忠氏を迎え、ごみ問題について考えました。

第1回目に基礎知識と現在のごみ問題について学び、第2回目で「今自分たちにできること」をテーマに、ワークショップを行いました。

ワークショップでは、ごみを減らすにはどのような工夫が必要か真剣に話し合い、福生の家庭ごみを減らすランキングを作成する参加者の様子が伺えました。ランキングの一部をご紹介しますので、皆さんもぜひご家庭で実践してみてください。

家庭ごみを減らすランキング（福生市）

- 第1位 食品の買いすぎをやめる。
- 第2位 料理を作り過ぎない。
- 第3位 冷蔵庫の中身の点検をする。
- 第4位 食べ残しをしない。
- 第5位 着なくなった服をリサイクルしたり、人に売ったりする。

参加者の声

- ごみ問題を再認識して有意義な時間だった。
- 冷蔵庫の中だけでなく、あらゆる物に共通して当てはまることだが、整理整頓して無駄な貯蔵・買物をしないことが大切。
- 来年は30・40代の方もぜひ参加してほしいと思った。

福生地域ネコの会より



福生地域ネコの会では飼い主のいない猫に対して去勢・不妊手術を行い、繁殖を抑制することで、人と猫との調和の取れたまちづくりを目指しています。

平成29年度はモデル地区が新たに3地区増加しました。今後より広い範囲で活動していくため、福生地域ネコの会では猫の捕獲・動物病院への搬送・バザー時の出店準備などをお手伝いしていただける方を募集しています。

現在福生市内には飼い主のいない猫が多くいます。人と猫の調和の取れたまちづくりのためにも、猫を飼う際には室内で飼育する、去勢・不妊手術を行うなど、飼い主のいない猫が増えてしまわないよう、ぜひご協力ください。

【問合せ 環境課】

☆バザーのお知らせ☆

2月11日に熊川げんき広場でバザーを行います。バザーでの売上金及び募金は全て猫の医療費に充てています。ぜひお越しく下さい。

